

中2

数学

ふつう

こたえ

名前

# 連立方程式の利用

\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

## 1 代金・個数・2けたの数

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。

- (1) 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数之和は6です。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より18小さくなります。もとの数の十の位を  $x$ 、一の位を  $y$  として連立方程式をつくり、もとの自然数を求めなさい。

$$x + y = 6, 10y + x = 10x + y - 18 \quad x = 4, y = 2 \quad \text{答え } 42$$

- (2) 1本 50 円の鉛筆と、1本 130 円のボールペンを合わせて 6 本買うと、代金の合計は 540 円でした。鉛筆を  $x$  本、ボールペンを  $y$  本買ったとして連立方程式をつくり、それぞれ何本買ったかを求めなさい。

$$x + y = 6, 50x + 130y = 540 \quad x = 3, y = 3 \quad \text{答え } \text{鉛筆 } 3 \text{ 本、ボールペン } 3 \text{ 本}$$

## 2 速さ・割合・食塩水

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。

- (1) 3% の食塩水と 8% の食塩水を混ぜて、5% の食塩水を 500 g つくりまします。3% の食塩水を  $x$  g、8% の食塩水を  $y$  g 混ぜるとして連立方程式をつくり、それぞれ何 g 混ぜればよいかを求めなさい。

$$x + y = 500, \frac{3}{100}x + \frac{8}{100}y = 25 \quad x = 300, y = 200 \quad \text{答え } 3\% \text{ を } 300 \text{ g、} 8\% \text{ を } 200 \text{ g}$$

- (2) 品物Aと品物Bを1個ずつ買います。定価で買うと代金の合計は 3200 円ですが、Aを定価の 3 割引、Bを定価の 4 割引で買ったので、代金の合計は 2170 円になりました。Aの定価を  $x$  円、Bの定価を  $y$  円として連立方程式をつくり、それぞれの定価を求めなさい。

$$x + y = 3200, 0.7x + 0.6y = 2170 \quad x = 2500, y = 700 \quad \text{答え } A \text{ } 2500 \text{ 円、} B \text{ } 700 \text{ 円}$$

できた

/ 4問

